

ちょっと お茶しませんか？

「あ～エラ……。」そんな時、ホッと一息しませんか？
今回は銀行や市役所での用事のあい間に
ちょっと息ぬきできる意外な場所を紹介します。

こうか まちかど 特派員 のページ

こうか
まちかど特派員
いのうえ まさこ
井上 晶子



水 口社会福祉センターの中にある住民サロン「喫茶チャイム」をご存じですか？玄関の自動ドアが開くとコーヒーのよい香りがしてきます。香りに誘われて席に着くと緊張しながらも一生懸命接客してくれるスタッフがいます。チャイムは住民サロンであるとともに、実は障がいがある人々の就労トレーニングの場でもあるのです。水口町の社会福祉法人さわらび福祉会には3つの授産施設があり、その中のひとつであるワークステーション虹でチャイムの運営をされています。福祉施設を利用されている障がい者が地域に出て活動する機会が非常に少ない現状の中でチャイムは大変貴重な場所。接客を通じての職業訓練やコミュニケーション技術の向上をめざすとともに地域住民の方々と交流できることも大きな目的とされています。チャイムでの経験を活かし実際にアルバイトなどで就職された人の中にはサービス業を選ばれた方もおられます。

まだまだ知らない人が多いチャイムですが平成10年11月に旧水口町役場に誕生し、もうすぐ開店9周年を迎えます。チャイムで働く作業所利用者を開店当初からサポートし共に働いてこられたチャイムスタッフの中川さんに当時のエピソードを聞いてみると……「作業所で喫茶店営業を

することは当時めずらしくNHKの取材を受けたり、他の作業所から見学に来られたりしました。」と話してくださいました。チャイムで働くみんなで相談しあって、メニューやお店の雰囲気など、限られたスペースではありますがお客様に心地よい時間が提供できるよう工夫をしているそうです。実はチャイムという名前もワークステーション虹を利用されている方がつけられました。何かステキな理由があるのかも……？期待に胸をふくらませ名前の由来をご本人にお尋ねしたところ「名前を考えていた時に学校のチャイムの音が聞こえてきたで。」となんとともアッサリとお答えいただきました。

今年の5月に甲賀市役所水口庁舎内から現在の場所に移転した今は、福祉センターを利用されるごく一部のお客様を対象とした喫茶運営となっているのが現状です。より多くの人々にチャイムのことを知っていただき、福祉施設による運営だからこそできる工夫をすることで、住民の皆さんに気軽に立ち寄っていただける場所にしていきたいと思っておられます。

堅苦しい話はぬきにして一度チャイムに行ってみませんか？緊張しながらも頑張っておられる姿に皆さんもきっとこころがほんわ～かしてくることでしょ。

市内には、今回紹介したチャイムの他にも作業所で運営されている喫茶コーナーがあります。雰囲気やメニューの違いを楽しんでみてはいかがでしょうか？

- 喫茶お和しす(かふが生涯学習館内)
- 喫茶かすたねっと(市役所甲南庁舎内・甲南図書交流館内)
- 喫茶なちゅらる(忍の里プララ内)
(都合により休業中の場合があります)



▲緊張しながらも一生懸命に接客してくれるスタッフ



喫茶チャイム

《営業日》

月～金曜日

《営業時間》

10:00～16:00

《ドリンクメニュー》

ホットコーヒー

ホットティー

アイスコーヒー(夏季)

アイスティー(夏季)

アイスクリーム(夏季)

ホットココア

ジュース

ゆずティー(冬季)